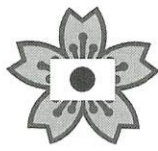


私たちはある国に住むのではない。ある国語に住むのだ。祖国とは国語だ。

山本夏彦



國の支え

(題字・中井信夫元大阪府議会議長)

関西防衛を支える会 (略称・関防会)

〒540-0012 大阪市中央区谷町2丁目7番6-605 TEL 06-6947-0831 発行人 高橋季義 編集人 新川貞敏 印刷所 株新聞印刷

第7号

(夏季号)

平成13年7月1日(日) (皇紀2661年) (大正紀元90年) (昭和紀元76年)

自民党の奇策

小泉新政権の成立を以て、国民の政治不信・政治家不信も一段落の観がある。人の良い日本人は、不信にせよ反抗にせよ、敵対的感情を持続させることを得意としないうらい。確かに国民の声をなき声となり渦となつて、小泉内閣は生み出されたと言つても良い。それだけに、森政権後期に燃やした政治不信の情念に、一息つけたくなるのも日本の人情かも知れない。しかし娯楽時代劇ではあるまいし、悪代官に成り代わる善玉為政者が、さう簡単に機能し得ないのが現実の政治である。なるほど小泉首相は、信念をもって果敢にやってみるかも知れない。しかし早い話が、最大派閥橋本派を野中広務が牛耳つてゐるといふ、自民党内の権力構造は石ころ一つとして動いてゐない。

小泉内閣発足直前に起きた金正男の不法入国に際して、僅か三日で出国を許した早技は、好対照をなす李登輝台湾前大統領の入国をめぐる無様な遅延と相俟つて、政権内閣の如何を問はずに継承される、現代日本政府の戦略無きでいたら外交の根強さを内外に明らかにした。この有様では、田中真紀子外務大臣が、型破りの国会答弁でどんなに夢や人生を語つと、北朝鮮による拉致事件の被害者および被害家族の人々は、夢も希望も持ち得ない。

かう考へてゐると小泉新政権の誕生も、自民党が国政選挙の数ヶ月前になると弄する、いつもながらの奇策の一つに過ぎないらしい。いづれにせよ、未だ政治と政治家への不信と警戒の手綱を緩められる段階にないことだけは確かであらう。間近に迫る国政選挙で、小泉首相の仮面のもとに、自民党が勝ちを制するやうなことになるれば、今なりを潜めてゐる首から下の自民党本来の権力機構が再びごめき始め、小泉氏自身を穿ちかけた国政への風穴を閉塞させる皮肉な結果を招くことは、火を見るよりも明らかである。

今更にはいつある国政の流れを本流となし、開きつつある風穴を確かかなものとして掘り得る道はないにあらうか。本稿では、しばしば現日本の国難について、経済問題に主眼を据ゑながら検証し、日本の取るべき進路を考察してみよう。

てで金を貸し続けている。国際間の貸借は、貸す方の手綱を緩められる段階にないことだけは確かであらう。間近に迫る国政選挙で、小泉首相の仮面のもとに、自民党が勝ちを制するやうなことになるれば、今なりを潜めてゐる首から下の自民党本来の権力機構が再びごめき始め、小泉氏自身を穿ちかけた国政への風穴を閉塞させる皮肉な結果を招くことは、火を見るよりも明らかである。

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

てで金を貸し続けている。国際間の貸借は、貸す方の手綱を緩められる段階にないことだけは確かであらう。間近に迫る国政選挙で、小泉首相の仮面のもとに、自民党が勝ちを制するやうなことになるれば、今なりを潜めてゐる首から下の自民党本来の権力機構が再びごめき始め、小泉氏自身を穿ちかけた国政への風穴を閉塞させる皮肉な結果を招くことは、火を見るよりも明らかである。

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

真の国政改革への道

神奈川大学教授・経済学博士 維新政党・新風本部副代表 小山和伸

世界最大の借金大国、米国

実際の融資額が、累計四兆ドル(日本国のGNP一年分)であることを考へれば、その損失の途方もない莫大さが分かる。現に平成二年以降僅か数年のうち

に、日本政府は六十五兆円にのぼる緊急財政出動を行つたが、その真水部分三十三兆円には匹敵する二十九兆円もの為替差損を、ク

リントン政権の超円高攻勢によつて、同時期に被つてゐる。これでは、財政投資の効果が現れないのも当然である。換言すれば、日本

政府は対米為替差損を埋めるために、せせせ赤字国債を発行してきたのである。

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

勤勉な日本人が米国を養う

日本はアメリカにドル建の金利引き下げを要求して

くる。この金利差は、言はば日本からアメリカへの資金流出のための、滑り台の

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

傾斜のやつたものである。現在不況下の日本で、日本の銀行は体力の弱った日本企業への危険な融資より、安全確実な四パーセントの金利差を稼げるアメリカへの融資を好んでゐる。つまり、現在六百六十六兆円といはれる赤字国債残高の二十年での急激な増加分は、アメリカの国益に則つて強いられた財政支出と言つて良い。しかも、その真水部分のほとんどが、対米為替差損を埋めるために消費されてゐる。赤字国債が次世代への増税によつて償還されることを考えれば、日本政府は現在のアメリカ経済を支えるために、自国の子供達に負担を強い

売国的な金融政策

アメリカ証券会社を中心とする高リスク高収益性の金融派生商品、トリッキーな金融取引が、長引くゼロ金利のもとで、年金生活者への誘惑を強めてゐる。先

物取引などで既に食ひ荒らされた日本資金だが、その触手は実直な日本人の個人資産に着々と伸ばされつつある。高等数学を駆使した詐欺まがひの危険な投資代

案が、金融自由化といふ錦の御旗を先立てて、餌食を嗅ぎ付けた鯨の如く日本人の血と汗の結晶に群がつてゐる。

この経済的国難を乗り切るためには、どうしたら良いか。勤勉実直な日本人の真面目な勤労が、正しく日本

の国富の増大に繋がってゆくやうな、健全な経済システムを取り戻すためには、どうすれば良いのであ

るか。実はその解法は、

民族的宿題

何故今まで、この当たり前の政策が取られずにきたか。最大の理由は、国家存立の根幹である安全保障を、アメリカに全面的に依存してきたことにある。あ

るのは、全面的な依存を余儀なくさせる、日本国憲法と言つた名の占領憲法の呪縛にある。これこそ、日米の政治的交渉における優劣劣

敗を、恒常的に決定づける根幹的要因に他ならない。日本国憲法を一週間で作

つたアメリカ軍のクーデター元大佐は、二年前に日本のテレビに出演して、「当時、日本国憲法の草案にあ

たつてゐた我々は誰も、日本が独立主権を回復すれば、この憲法は直ちに破棄

されるものと思つてゐた。まさか一行も変へられずに五十年以上も大事にされるなんて……」と述べてゐる。この笑へぬ笑ひ話の

(次ページへ続く)

アジア問題研究家

八島 三郎

はじめに言葉の説明をし、日本政府の「言論の自由」に腹を立つて。

「無道徳」と「不道徳」とは違ふ。英語でいえば、前者は amoral であり、後者は immoral である。「無道徳」では意味がはっきりしないと言つたらば「超道徳」といつたらよいだろう。たとえ猫が鼠を喰ひ殺しても、誰もそれを不道徳だといつて非難することはない。一人間の場合はどうだろう。

米国の原子爆弾投下は、また東京大空襲は、果たして無道徳の部類だろうか。その後半世紀の現在、米国民は依然として原爆問題を気にしているように見える。であるならば、あれは無道徳ではなく、不道徳な行為だったに相違ない。

——そついつた脈絡において、本紙前号の「書物紹介」は刺激的だった。深く考えさせられた。その書物というのは、上垣外憲一『暗殺・伊藤博文』(ちくま新書)である。

ハルビン駅で伊藤博文を射殺したとされる男、現在の韓国で「愛国者第一号」としてはややされている安重根。彼が、実は、背後からあの明石元二郎によって操られていた！それが本当ならば、韓国の歴史学会は、——いや、学会だけではなく韓国言論界の全体が、大騒ぎになるのではなからうか。「教科書をつくる会」の教科書について、韓国大使が抗議して帰国するかも知れぬ。そのような書物の出版を野放しにしてい

に主張する。国益の折合は、本当は、そのような遠慮のないやりとりからだけ生まれるもの、歴史の事実もその時を以て見えてくるのだ。

それではない。ソウルの南山、つまり日本時代には朝鮮神宮があった場所に、立っている安重根の像は、一体どうなるのだろうか。

私も結局、問題の本を買って読んでみることにした。著者は「仮定」だとして逃げているのだが、それがいたって説得力に富む仮定なのである。私にはソウル大学校法科大学に在る友人がいる。彼に一冊送ってみるつもりである。

いわゆる「ソウル大法大」の韓国における権威は大変なものである。東大法学部の比ではない。そのような場所から、もしも「安重根は明石元二郎の手先だった」と説が流れ出したら——さらに、もしも「暗殺・伊藤博文」自体が韓国語に翻訳されたら——これは面白ことになる。歴史教科書問題における韓国政府の——はつきり言つて——不当な抗議に對抗して、あの国の言論界を、歴史学会を、混乱させるようなクセヤマを投げこむことになるのだから。

河野洋平氏のように、中国や韓国からの抗議に対しては、これまで本紙では掲載されなかった。だが、日本の国防に関する情報、または意見を、会員の間で自由にとりかわすには、これは非常に有効な手段になると思う。前号の書物紹介が良い例だ。

国際謀略は無道徳

国益のためには何でもやる

戦前・戦中の思いでを語ることも悪くはない。貴重な資料でもある。しかし、もしも本紙が、そのような回顧録の掲載に紙面をとりすぎると、若い世代の日本人からその歩を向かれば、ないか。私はそれが心配だ。戦前の日本は暗黒——その学校で教わつて育つたのが、現在の日本人の大部分である。ムカシバナシは、よほど気をつけないと、年寄りの世迷い言にと取られかねない。

戦前派は勿論、戦中派も、そう遠くない将来、この日本にオサラバしなくてはならぬ。そのあとを継いで日本を立て直してくれるのは、若い世代のほかに、本人の大部分は、自衛隊員であるか一般国民であるかを問わず、彼ら若い世代も喜んで読む記事、必要とする情報を提供する。それが本紙の大切な任務ではなからうか。

例を挙げよう。私の知人の成功した実業家から聞いた話である。彼の生家はいたって貧しかった。それ子三、娘六人だったという。そのような場合、戦前の日本ではよく、娘を売るといふ悲惨な事態になった。これは昭和初期の朝鮮人の死体を山ほどストックしている」と言ったものだ。われわれが想像もしない、あるいはできないようなことを、米國は平然とやっている。……国際政治というのは小説よりもブツツツなものだ。

代までの日本人にとって、ごく普通の知識だった。——で、私の友人が孫たちに、祖父の世の我が家の貧困を語つてその話に及んだところ、ソナナコト嘘デショウといつてどうも理解できなかったぞうだ。日本の文明と歴史とを正しく受け継いでもらはねばならぬ当の相手は、よしかあしあしこれいこうという人々なのではないか。戦前の日本は、米軍の占領下に「帝国の知」を奪われた。その結果、独立自主の精神を失った。ブルジョアスキー——私には「Bryce Baskin」というスラフ風の名前の読み方が解らない、一応こう読んでおく——は、日本ハ米國保護国アール、そう言つてはばからぬ。帝国の知を欠いては、国際社会で国家がまどうに立ちゆかないのである。

したものだ(『帝国の知の喪失』平成十一年、展転社)。そこで「帝国の知」とは、実のところ、このようにおぼろしい側面をも含むのである。

戦後の日本は、米軍の占領下に「帝国の知」を奪われた。その結果、独立自主の精神を失った。ブルジョアスキー——私には「Bryce Baskin」というスラフ風の名前の読み方が解らない、一応こう読んでおく——は、日本ハ米國保護国アール、そう言つてはばからぬ。帝国の知を欠いては、国際社会で国家がまどうに立ちゆかないのである。

さて、鈴木氏の「帝国の知」とは、実のところ、石原が例示するようなオゾマシイ側面をも含むものだろう。綺麗ごとでは決して済まないものである。前に言及した明石元二郎にしても、個人としては実に清廉な軍人であった。記録がこれを証する。

わぬ。そついつた明石の苛烈な精神こそが、どうやら帝国の知の核心にあつて、それを支え、推進するらしい。米國人の帝国の知について、グライ・ラマは、こう言いつつた。引いておこう。田原「米國は、どうして中国の植民地主義、帝國主義的政策に対して何も言わな(い)んじやう」

改革の鎗矢を射込めるのか

(前ページより続き)

綱である。分計算のできない大学生が増えるといふ。してみれば、このところ打ち上げる度に失敗する日本のロケットも宣るかな。技術立国など夢物語といふべきか。確率論と微積分を駆使したアメリカ製金融派生商品のトリックを、追及できる日本人証券マンの登場も、期待薄と言わざるを得まい。それでも

文部科学省は、学習課程内容を来年以降さらに三分の一削減することを決定して、「ゆとり教育」と言ふ名の愚民教育に血道をあげてゐる。

国政改革の正道

いかな秀才も、健全かつ

堅牢な国家意識なくして有為の人材と成り得ぬことは、既述の如きなり振り構は、道ほにもあるかもしれぬ。おそろくあるのであらう。しかし、既存政党のしがらみから全く自由な新党活動によって、決して偶然とは思へぬ国難との出会いに、気力・体力・知力の限りを尽くして殉ずる道が、遠く険しくとも真の国政改革の本流に通じる正道であることに間違ひはあるまい。

昭和三十年生、東京都出身。東京大学大学院経済学研究科博士課程終了。

英霊感謝祭

*8月15日 正午より
*大阪護国神社
地下鉄四つ橋線・住之江公園下車

相談役 佐伯 洋 (元朝日放送副社長)

佐伯氏は海兵61期、南太平洋の熾烈な戦いで九死に一生を再三体験された方です。先号の役員名簿に編集ミスで掲載が漏れました事をお詫びします。

書物紹介

日本人は台湾で何をしたのか

=知られざる台湾の近代化=

鈴木満男著 本体1800円+税 国書刊行会

小会相談役の鈴木氏が渾身を込めて執筆

御一読を乞う次第です。(5月中旬発売)

満州の妖怪、昭和の怪物などと評された岸信介元総理大臣。岸総理の最大の功績は、何と言っても昭和三十三年の日米安保条約の改定だろう。改定と言っただけで済む話ではない。この改定交渉がいかに難事であったかは、国内の左翼勢力だけでは無く、パトリオットのアメリカからも相手にされなかった点がある。また保守政界にも主導権を握る為に消極的反対を唱える勢力もあった。

昭和三十年に訪米した第二次鳩山内閣の岸幹事長、重光外相、河野農相などが、ダレス國務長官と会談した折、重光外相が「日米安保条約は適当でない部分があるから対等のものに

改定する話し合いに応じてくれないか」と切り出すと、ダレスは囁いて吐き出すように「日本にそんな力があるのかね」と木で鼻をくくったような、全く相手にしない態度であった。このような状況で岸さんは、現在にまで至る日本の安全保障の根幹を確立させたのである。

この岸さんを担いだ一人が大倉三郎代議士である。年齢は岸さんより二歳くらい若い相模原の若旦那大男で、しわがれ声で簡潔明瞭な演説する姿は堂々たるものだった。

私が府議会に初当選する三年前の昭和二十五年、大倉三郎代議士の選挙を手伝った自民党青年部の十五名ほどが慰労のため大倉邸に招かれた。戦前、布施市長を、その後、府議会議員を務めた大倉代議士の屋敷に

「恵送の『國の支え』拝読。書評の『暗殺・伊藤博文』について一言啓上。大正以降の我が国に最も欠如して居たのが、この利益に対する態度ではなかったらうか。思ひ当たる所多く、愕然とした次第です。かつては陸軍の恩師メツケルすら、我が利益に反する行動あらば暗殺も辞せずとして、その身を監視した福島安正大将などのやうに、利益を第一として冷徹な判断を下せた日本人が、何時からそのような意識・感覚を喪失して終ったのか、謎です。

これは情報の軽視と軌を一にして居るのでは無いか、とも考へて居ります。スパイの入手した情報等を、アンフェアな手段で得

は百人くらい座れる道場のよつな座敷があり、そこで御馳走になりながら大倉代議士の含著に富む訓話を拝聴したのである。

筋を誤るな。明治以来の富国強兵の夢、常に選挙民の動静を見よ、命を掛けて天下国家に奉ぜよ、などが骨子であった。

その訓話の中にあつた岸さんを担いだ挿話を紹介したい。

昭和二十三年、A級戦犯として拘留されていた梶鳴拘置所から出所して郷里の山口に隠棲した岸さんを御見舞いに行った大倉さんは、再生日本の為に立ち上がるように進言した。当時

た情報は要らないと退けたのは、サー・エドワード・グレイだったか、たしか英国外相だったと記憶しますが、そしてこの挿話に「感動」したのが幣原喜重郎男であつたといふ故事は、いかにも、という感じが致します。そして相手方との個人的信頼を唯一無二のものとした幣原外交は、やがて第一ラウンド会議の際キャッスル大使にすべ

は情報を軽視して居たのでせうか、ワシントン会議に当たって我が暗号を悉くカードリー大尉に解読されても気が付かなかった大失態を演じました。しかも当の

は情報軽視して居たのでせうか、ワシントン会議に当たって我が暗号を悉くカードリー大尉に解読されても気が付かなかった大失態を演じました。しかも当の

羽翼未だ整わず

岸信介を担いだ男・大倉三郎

大阪府議會議員 吉村 鉄雄

大倉さんが欧州視察から帰国した昭和二十八年春、吉田茂総理の有名な「バカヤロー解散」で選挙の機会がやって来た。大倉さんは自分の選挙は地元で任せ、田布施町に事務所を借りて看板を立てポスターを刷り、車を準備して岸さん

由党を脱党した。脱党という行為は代議士にとって政治生命に関わるものである。大倉さんは「私はまだ羽翼が整っていない、つまりこの時期に飛べと言われても無理なのだ。つまり総理就任の準備ができていない、と言つたのであつた。緒方氏の突然の死。つまり他人の不幸を喜ばず、自分を客観的に見る聡明さ、教養が岸さんにはあった。

時は移り昭和二十二年一月、石橋満山首相が病に倒れ、二月、首相代理に就いていた岸さんに総理の座が巡つて来た。この第一次岸政権は石橋内閣を継承したものであり大臣、党役員などの人事は石橋内閣のままであつた。だが、

昭和三十三年六月、第二次岸政権の発足にあたり大倉さんは首相官邸に呼ばれて、岸さんから「大倉君、これから組閣する君の希望する大臣を言ってくれ、君の永年の努力に報いる為に君の入閣を優先させた」と言われたという。私が、大倉さんの訓話を聞いて

二年前の事であり、湯気たつような生々しい組閣秘話である。

そこで、大倉さんは「岸大倉の仲は世間皆知知して居る。ここで私が大臣になれば、大倉は大臣になりたがいに、御官の為に岸を担いだ、と云われる。また岸は論功行賞を大いにやる男だと評される、それは国家の為に成らぬ、だから私は大臣にはならない」と断つた。そこで大倉さんは大倉さんに大臣候補の首相官邸への呼び出し係りを頼んだ。そこで、

岸さんには運も有つたが「国家に対する気遣い使命感があつた」「君達も命を掛けて国家に奉じてくれ」との、大倉さんの訓話だった。

戦後日本の復興は、戦前、商工省の局長を経て、満州国実業部次長(実質の大臣)として渡満し、満州国の開発に計画経済を実践し、満州近代化への道を開いた岸さんの手法を応用したものであり、その後を襲った池田総理の経済成長路線は岸さんの敷いた路線を走つたものである。

私はこの「国家に奉ぜよ」の言葉を肝に命じて四十年間、大阪府政に勤しみ、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

と、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

と、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

と、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

と、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

と、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

司馬史観に欠落するもの

画家 奥村 直(長野県)

た二年前の事であり、湯気たつような生々しい組閣秘話である。

そこで、大倉さんは「岸大倉の仲は世間皆知知して居る。ここで私が大臣になれば、大倉は大臣になりたがいに、御官の為に岸を担いだ、と云われる。また岸は論功行賞を大いにやる男だと評される、それは国家の為に成らぬ、だから私は大臣にはならない」と断つた。そこで大倉さんは大倉さんに大臣候補の首相官邸への呼び出し係りを頼んだ。そこで、

岸さんには運も有つたが「国家に対する気遣い使命感があつた」「君達も命を掛けて国家に奉じてくれ」との、大倉さんの訓話だった。

戦後日本の復興は、戦前、商工省の局長を経て、満州国実業部次長(実質の大臣)として渡満し、満州国の開発に計画経済を実践し、満州近代化への道を開いた岸さんの手法を応用したものであり、その後を襲った池田総理の経済成長路線は岸さんの敷いた路線を走つたものである。

私はこの「国家に奉ぜよ」の言葉を肝に命じて四十年間、大阪府政に勤しみ、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

と、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

と、天下国家の行く末に憂慮して来たが、道遠の感を拭いきれない。道統の諸賢に大倉さんの警咳に接し

死んでたまるか!!
 抗ガン作用のあるβ-グルカンがアガリクスの3.8倍!!
 ~免疫力を高めます~
 ガン・糖尿病・高血圧などの方に
 ハナヒラタク含有食品
花珊瑚
 代理店 株式会社 日生工研
 代表取締役 前田 稔
 大阪市福島区吉野4-27-12
 TEL(06)6462-8528
 FAX(06)6462-5824

ビル総合管理
 株式会社 **ダイトウ**
 取締役 社長 **山下 照夫**
 大阪府北区堂山町一―五
 (大阪合同ビル三階) 千五〇一〇二七
 電話 〇六六三三三三〇六三三
 FAX 〇六六三三三二六九三〇

株式会社 **サンワ** 運行委託
 送迎バス運転代行の安心と信頼の責任集団
 大阪 〇六(六九三三) 五六四五
 神戸 〇七八(六五二二) 五六四五
 代表取締役 **山本 覺**
 〒570 0032 大阪府守口市菊水通二―十九―一
 〒652 0806 神戸市兵庫区西柳原六―四

和主義を唱えただけで我が国の安全が保障されたのであろうか。今に至るも批判が絶えない昭和六年の満州事変および満州建国は歴史の必然性を帯びていたのでないか。

『アメリカの鏡・日本』(ヘレン・ミアーズ)、『東南アジアの解放と日本の遺産』(ジョイス・C・レプ)など米人女性の著書が、それを雄弁に物語っている。(新)